

# 山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行  
山形県保険医協会  
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル  
電話 023 (642) 2838  
FAX 023 (642) 2839  
購読料 年共1ヵ月 500円  
印刷 コロニー印刷  
第553号

## 12月号 TOPICS

- 2面…仙台国税局へ要請
- 3面…医療機関が発行する文書の費用
- 4面・5面…定期総会協賛広告
- 6面…審査情報提供事例(歯科)
- 7面…つるさんのお店探訪
- 8面…気になるワインの話

## 第50回定期総会 市民公開講演に250名

協会は11月15日、山形市の大手門パルズで第50回定期総会を開催した。

開会にあたり挨拶に立った中島幸裕理事長は、「物価高騰や医療DX推進などによって医療機関の負担が増え、閉院する医療機関が増えている。根本にある医療費抑制政策を転換して、いつでも、どこでも、誰でも安心して医療が受けられるように、継続的な取り組みを」と決意を述べた。

### 活動報告と方針

第1号議案では、鈴木康洋副理事長が24年度の活動の特徴と25年度の活動方針

を提案し全会一致で承認された。

「医療機関へ物価高騰支援を求める取り組み」では、山形県は1月に「令和6年度山形県医療機関等物価高騰対策支援金」を実施。しかし医科・歯科診療所とも2万円と低額で、経営が厳しい医療機関の物価高騰に対する支援として十分なため、4月、5月、6月と、3度にわたり県へ



開会あいさつ  
(中島幸裕理事長)



講師の海原純子先生



第50回定期総会



250名が聴講した記念講演



来賓あいさつ(舟山康江参議院議員)



来賓あいさつ(芳賀道也参議院議員)



SHINSEN MUSICAによる演奏

要望。県議にも依頼し、県議会と協会の基に質問と要望を行ってもらうなどの取り組みの結果、5月の追加支援金は同額の2万円だったが、9月の支援金は5万円に増額された。今後も継続的な支援と増額を求め、要望していく。

「患者負担増反対の取り組み」では、「高額療養費制度」負担上限引き上げ中止を求めた。8月に予定されていた引き上げは見送られたが、昨今の報道にある通り、引き上げが再検討されている。この問題も継続的な取り組みが必要である。

「診療報酬改定への対応」は、昨年6月の診療報酬改定に対応するテキストを発刊し、会員医療機関の相談に対応。来年6月の診療報酬改定を見据え、理事会で問題点を整理し、厚生労働省へ要望している。

「入会への取り組み」では、今年度は28名もの新会

員を迎えた。全国的には会員数が減少する中、新規開業医への対応、Webによる研修、保健所への立入検査や個別指導対策、病院や診療所の勤務医の先生方への働きかけなどが評価され、入会が増えている。

今後も医療活動部、広報部、税務経営部、歯科部、組織共済部、庶務財政部など各専門部が一体となり取り組んでいく。

### 決算と予算

24年度決算報告、小川裕監事の監査報告の後、25年度予算が提案され、決算、予算ともに全会一致で承認された。

### 決議

田中雄二理事より、診療報酬の大幅な増額、物価高騰対策への持続的な財政支援、健康保険証の存続とマイナ保険証の併用などを求める決議が提案され、拍手で決議が採択された。

### 懇親会

続いて、懇親会を開催。舟山康江参議院議員、芳賀道也参議院議員、菊池二郎衆議院議員代理より挨拶をいただいた。そのほか、吉村美栄子県知事、市民公開講演の後援をいただいた山形市の佐藤孝弘市長などから多くの祝電をいただいた(8面参照)。懇親会では音楽ユニットSHINSEN MUSICAによるクラシックの生演奏に耳を傾けながら、和やかに懇親を深めた。

市民公開講演「大人力のものがき方」自分も周りも元気になるために」  
今回は創立50年の節目にあたり、心療内科医、医学博士、エッセイスト、ジャズ歌手、コメンテーターなど多岐にわたり活躍されている海原純子先生による市民公開講演を行い、会員、来賓、市民約250名が聴講した。(講演の詳細は次号に掲載予定)



恒星間天体が話題になっている。恒星間天体とは、太陽系の外、つまり別の恒星系で形成され、星間空間を旅して太陽系に一時的に入り込んできた天体のことだ。彗星や小惑星、あるいは惑星のような天体(ただし恒星やその残骸ではない)が含まれる。これまで三つの天体が発見されている。一つ目は2017年11/オウムアムア、二つ目は2019年2/ボリソフ、そして、本年5月の3I/アトラスである。今は10月、10月の終わりには3I/アトラスは太陽に最も接近した。本稿が掲載される12月半ばには地球に最接近し、あとは太陽系から遠ざかるそう。今夏の3I/アトラスはかなり大きく、予想外のデータが観測されているという。大きさも20数キロで長い尾を有しているそう。構造的にもいろいろ新発見があり、多くの学者の関心を引いている。NASAがトランプ大統領の人員削減のせいで様々な公表ができないでいるという説の一方、これは実は悪意を持った異星人の宇宙船だから、NASAは真実を伝えてないのだといったフェイクじみた話も、まことしやかなAI画像付きでSNSを騒がせている。また「奇跡のリング」の木村秋則氏の「ホピ族の青い星」ではないか、世界の終わりではないかという噂も広まっている。(Y)